

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群	
	対象学科・専攻	土木工学科	
景観設計 (Landscape Design)	担当教員	岡松 道雄 (Okamatsu, Michio) 毛利 洋子 (Mouri, Yoko)	
	教員室	岡松：都市環境デザイン工学科棟3階 (TEL: 42-9122) 毛利：都市環境デザイン工学科棟2階 (TEL: 42-9121)	
	E-Mail	岡松：okamatsu@kagoshima-ct.ac.jp 毛利：mouri@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義・PBL / 学修単位 [講義 I] / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (200分) + 自学自習 (160分)] × 15回		
[本科目の目標] 土木工学における景観デザインの位置づけ・必要性を学び、土木構造物や土木空間の利用者である市民が、どのように体験し、味わうのか、普遍的な枠組みについて理解を深める。さらに、風景の中で設計者が操作可能なものを把握し、模型製作などを通じて、デザインの実践的な演習を行うことと目標とする。			
[本科目の位置付け] 本科目では、いままで学んできた土木工学の各分野を、景観デザインという新しい視点から統合し、実践する。そのため、土木工学全般への深い理解が必要であり、さらに、デザインに関連する隣接分野 (建築やインテリア、グラフィックなど) へも関心を寄せておく必要がある。本科目はPBL形式の学習法で進めていく。			
[学習上の留意点] 本科目は講義・PBL形式で行う。教科書や講義の内容を為呑みにせず、必ず自分の目と足で実体験を通じて確認すること。デザイン教育は、教室で完結するものではないので、普段の生活から意識的・批判的に景観や構造物を眺め、自分なりのアイデアを練っておくこと。			
[授業の内容]			
授業項目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 景観工学の基礎	10	<input type="checkbox"/> 景観デザインの位置づけ、景観とは何か？ <input type="checkbox"/> 景観把握モデル、視点と視点場が説明できる。 <input type="checkbox"/> 人間の視知覚特性が説明できる。 <input type="checkbox"/> 空間のスケール・ヒューマンスケールが説明できる。 <input type="checkbox"/> プロポーションとコンポジションが説明できる。 <input type="checkbox"/> ゲシュタルト心理学 (図と地) が説明できる。	教科書 p31 までを読み理解しておくこと。
2. 景観のイメージ	2	<input type="checkbox"/> 都市のイメージが説明できる。 <input type="checkbox"/> Prospect-Refuge 理論、親水象徴理論が説明できる。 <input type="checkbox"/> デザインプロセスが説明できる。	教科書 p32～121 までを読み理解しておくこと
3. デザイン事例	4	<input type="checkbox"/> 河川デザインの事例が説明できる。 <input type="checkbox"/> 公園施設を含んだ公園デザインの事例が説明できる。	教科書 p124～233 までを読み理解しておくこと。
4. 設計演習 (1)	2 4	<input type="checkbox"/> 現地調査の方法が説明できる。 <input type="checkbox"/> 計画敷地の模型作成をし、周辺状況について説明できる (グループワーク)	補助教材を読み、概要を理解しておくこと。
5. 設計演習 (2)	6 4 8 4 12 4	<input type="checkbox"/> 風景や街並みを考慮した単体建造物のコンセプト立案ができる。 <input type="checkbox"/> 設計の進め方、模型の作り方が説明できる。 <input type="checkbox"/> エスキース・草案批評 (ゼミ形式) <input type="checkbox"/> 各自で作成した草案の法的根拠・計画上の趣旨・機能が説明できる。 <input type="checkbox"/> ブロック模型の作成 <input type="checkbox"/> 課題提出・プレゼンテーション・評価、講評会において説明ができる。	
[教科書] 風景のとらえ方・つくり方—九州実践編—共立出版 [参考書・補助教材] 「街並みの美学」 芦原義信著、「風景学入門」 中村良夫著、「建築デザインの原点」 小林盛太著 富隈城跡 I～III			
[成績評価の基準] 課題作品制作および発表 (80%) + レポート提出 (20%) - 授業態度 (最大20%)			
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 1-b, 3-c, 3-d [教育プログラムの学習・教育目標との関連] 3-3 [JABEEとの関連] (d) (2)c			

Memo